

宇陀市地域公共交通総合事業計画

1. 地域公共交通総合連携計画の名称

宇陀市地域公共交通総合連携計画

2. 宇陀市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条に基づく宇陀市地域公共交通総合連携計画の円滑かつ確実な実施を確保するため、同計画において実施することとされた事業の円滑かつ確実な立ち上げについて、同計画の計画期間の当初3年間において、特に、同法第6条に基づく協議会が、地域公共交通活性化・再生総合事業による支援を活用しつつ、取り組むこととする事業について、宇陀市地域公共交通総合事業計画として以下のとおりとりまとめ、計画的かつ効率的・効果的な実行を確保することを目的とする。

3. 総合事業計画の全体事業計画

(1) 全体事業計画の目標

(目標)

・平成20年度は、前年度（H19年度）より国からの補助金を受けて実施しているコミュニティバス（榛原大野線、室生南部線、室生北部線の3路線）の実証運行事業を継続しながら、本格運行への移行準備を進めると共に、翌年度に計画している宇陀市公共交通総合連携計画（「総合連携計画」）策定調査事業のための準備作業を行うものとする。（実証運行事業については、「総合連携計画」策定後に新たな事業として実施する）

尚、上記の3路線の運行事業については、宇陀市地域公共交通活性化再生協議会において、承認済みである。

・平成21年度の前期中に、「総合連携計画」策定調査事業を実施し、市民の意見や地域住民からの要望等、現行の事業での問題点をとりまとめた上で「総合連携計画」を策定する。

また、当年度の後期には、「総合連携計画」に基づいて地域公共交通の活性化・再生を図るための各種計画事業の取り組みを随時、進めていくものとする。

・平成22年度については、計画期間中に実施した事業実績の内容等を基に「総合連携計画」の見直しを行いながら、問題の解決に向けた対応策を講じていくものとする。

(評価事項)

- ・公共交通の空白地域の解消
- ・コミュニティバス及び路線バス等の利用者数の増加
- ・駅、病院、公共施設等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
- ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
- ・安全で効率的な輸送サービスの提供
- ・行政コストの抑制
- ・地域に応じた新たな交通システムの再構築

(2) 全体事業計画の事業スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 () または横棒線 () で記載。

事業の名称	平成 2 0 年度				平成 2 1 年度				平成 2 2 年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
1.市営有償バスの 実証運行												
2.コミュニティバス 実態調査												
3.公共交通サービス に関する情報提供												

(3) 全体事業計画の事業費等

事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
1.市営有償バスの実証運行	21,000千円	10,500千円	10,500千円
2.コミュニティバス実態調査	1,000千円	500千円	500千円
3.公共交通サービスに関する情報提供	600千円	300千円	300千円
合 計	22,600千円	11,300千円	11,300千円

4 . 総合事業計画の各年度事業計画			
4 - 1 . 初年度（平成20年度）事業計画			
（1）事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
1.市営有償バスの実証運行	・榛原、室生地域で市営有償バスを実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。	宇陀市	・公共交通の空白地域の解消 ・駅、病院、公共施設等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
2.コミュニティバス実態調査	・計画策定の事前準備（アンケート調査等）	宇陀市	・市民や地域住民等からの意見聴取
（2）事業費等			
事業の名称	総事業費（見込み）	国費（見込み）	地域の負担（見込み）
1.市営有償バスの実証運行	7,000千円	3,500千円	3,500千円
2.コミュニティバス実態調査	1,000千円	500千円	500千円
小計	8,000千円	4,000千円	4,000千円

4 - 2 . 2年度（平成21年度）事業計画			
（1）事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
1.市営有償バスの実証運行	・榛原、室生地域で市営有償バスを実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。	宇陀市	・公共交通の空白地域の解消 ・駅、病院、公共施設等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
3.公共交通サービスに関する情報提供	・地域で新たな交通システムを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、持続可能な事業とする。	宇陀市 関係団体等	・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
（2）事業費等			
事業の名称	総事業費（見込み）	国費（見込み）	地域の負担（見込み）

1.市営有償バスの実証運行	7,000千円	3,500千円	3,500千円
3.公共交通サービスに関する情報提供	200千円	100千円	100千円
小計	7,200千円	3,600千円	3,600千円

4 - 3 . 3年度(平成22年度)事業計画			
(1) 事業計画の概要(目標)等			
事業の名称	事業の概要(目標)	実行主体	評価事項
1.市営有償バスの実証運行	・榛原、室生地域で市営有償バスを実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。	宇陀市	・公共交通の空白地域の解消 ・駅、病院、公共施設等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
3.公共交通サービスに関する情報提供	・地域で新たな交通システムを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、持続可能な事業とする。	宇陀市 関係団体等	・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
1.市営有償バスの実証運行	7,000千円	3,500千円	3,500千円
3.公共交通サービスに関する情報提供	400千円	200千円	200千円
小計	7,400千円	3,700千円	3,700千円